

歴史的建築物を活用したアートによる中心市街地の再生

【概 要】

鳥取市中心市街地に立地する旧横田病院を会場として、アートプロジェクト「ホスピテイル」を期間限定で開催する。これは、地域文化学科の授業「地域調査実習」として位置づけ実施するもので、自治体、地域住民等と連携しながら、キュレーターのもと取り組む。

事業内容としては、

- (1) 学生による「Café Manu & ライブラリーsumiore」の運営
- (2) トークシリーズ
- (3) アートプロジェクトおよび作品展示、
- (4) 旧横田医院や周辺地域の歴史のリサーチとその展示、である。

【キーワード】 アーティスト・イン・レジデンス、歴史的建築物、地域再生、中心市街地

【参加メンバー】 野田邦弘（地域学部地域文化学科教授）プロジェクト統括
榎木久薫（ ” ” 教授）プロジェクト分担
小泉元宏（ ” ” 講師）アートプロジェクトのマネジメント
藤井 正（ ” 地域政策学科教授）中心市街地活性化との調整
浅井秀子（大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授）歴史的建築物の空間活用

【計 画】 H24 大学の実験事業として事業実施
H25 市の実験事業に位置づけ、事業を拡大実施
H26 国の支援を得て、鳥取市の文化とまちづくりの拠点として整備する方針確立
(H27以降、鳥取市の事業として、文化によるまちづくり拠点として運営)

【地域連携先】 鳥取県（文化政策課）、鳥取市中心市街地活性化協議会、鳥取市（中心市街地整備）
栄町町内会、本通り商店街振興組合、鳥取環境大学（予定）